

新たなランサムウェア攻撃について

身代金を払わざるを得ないような状況を作り出すため、

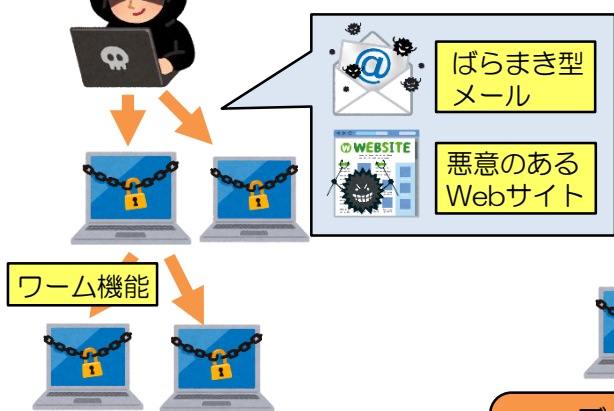
- 標的を定めたランサムウェア攻撃
- 二重の脅迫

などの新たな手口を取り入れたランサムウェア攻撃が増加しています。



従来の攻撃

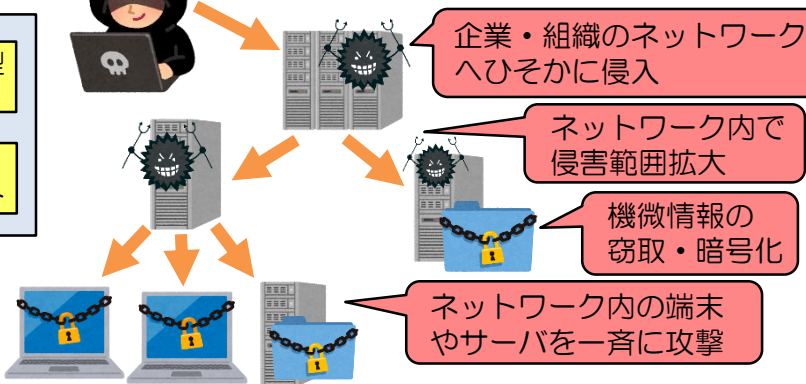
攻撃者 不特定多数に攻撃



データの復旧と引き換えに身代金を要求

新たな攻撃

攻撃者 企業・組織を標的に攻撃



データ・システムの復旧と引き換えに身代金を要求
+
窃取したデータを公開しないことと引き換えに身代金を要求

○ 標的を定めたランサムウェア攻撃

明確に標的を定め、企業・組織のネットワークにひそかに侵入し、侵入後の侵害範囲拡大等を行います。機微情報が保存されている端末をランサムウェアに感染させたり、管理サーバを乗っ取って、企業・組織内の端末やサーバを一斉にランサムウェアに感染させたりします。

○ 二重の脅威

ランサムウェアにより暗号化したデータを復旧するための身代金の要求に加え、支払わなければデータを公開する等と脅迫する攻撃手法です。

【被害防止対策】

○ 企業・組織のネットワークへの侵入対策

インターネットからアクセス可能な装置全体について、アクセス制御が適切にできているか、認証が突破される可能性はないか、脆弱性は解消されているか等について確認してください。

○ データ・システムのバックアップ

バックアップを確実に取得し、守ることができるよう、必要に応じて設定や構成を見直してください。